北イタリア安全対策情報

2022年1月～3月

1 治安情勢

(1) 当地では新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が3月末で終了し、徐々に日常生活が戻るにつれ、観光客数もコロナ前の水準に近くなってきました。

また、窃盗等の一般犯罪も都市部を中心に増加傾向であるため、特に地下鉄やレストラン等の人の密集場所においては、所持品等の安全確保に留意して下さい。

(2) 3月9日午前4時頃、在ローマのベラルーシ大使館に大型の爆竹が投げ込まれる事案が発生しました。ウクライナ情勢に関する何らかの意図をもったものである可能性もあります。今後もウクライナ情勢に関連した事案が発生するおそれがありますので、最新の情報収集に努めて下さい。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

(1) 車上狙0件（参考：1月から3月は3件）

(2) 置引1件（同：1件）

3月下旬、ベネチア市内を観光中、目を離した隙に付近に置いていたバッグを窃取されました。

(3) すり2件（同：1件）

ア 2月上旬、フィレンツェ市内を観光中、何者かに財布を窃取されました。

イ 3月下旬、ミラノ市チェントラーレ駅付近路上で女性に道を聞かれている間に、ポシェットの中の財布を窃取されました。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は、以下のとおりです。

(1) 3月下旬、ミラノ市コルソ・ローディにてイタリア人男性2人（40歳と42歳）は、刃物で銀行を襲撃して10万ユーロを強奪しましたが警察に逮捕されました。

(2) 3月下旬、ミラノ市ポルタ・ヴェネチアにおいてイタリア人（33歳）は口論の末、イタリア人男性（21歳）をガラス片で喉を刺殺後、警察に逮捕されました。

4 テロ・爆弾事件発生状況 特になし。

5 誘拐・脅迫事件発生状況 特になし。

6 対日感情の変化 特になし。

7 日本企業の安全に関する諸問題 特になし。